

The 29th International Organ Festival in Japan

第29回 インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン2019



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

〈パイプ・オルガン〉

エルンスト・エーリヒ・シュテンダー (ドイツ リューベック)

バッハが師と仰いだブクステフーデが、主任オルガニストを務め、「夕べのコンサート」を開催していた著名な「リューベックの聖マリア大聖堂」の後継者を務められた「Dr.シュテンダー教授」は、バッハ・ブクステフーデの全曲を録音し、現在オルガン音楽に於いて世界一の地位を築かれていられます。

日本においてその演奏、レジスト・オルガンへの編曲を学ぶ絶好のチャンスへ…どうぞ!

(児玉麻里)

6/6 [木]

東京カテドラル

関口教会 聖マリア大聖堂

19:00 開演 (18:30 開場)

【入場料】6,000円 (全席自由・税込)

6/7 [金]

りゅーとぴあ

新潟市民芸術文化会館

コンサートホール

18:30 開演 (18:00 開場)

【入場料】4,000円 (全席指定・税込)

《オルガンソロ演奏曲目》

- ◆ D.ブクステフーデ
『トッカータ ニ短調 BuxWV155』
『パッサカリア ニ短調 BuxWV161』 (東京公演のみ)
- ◆ J.S.バッハ
『パッサカリア ハ短調 BWV582』
『トッカータとフーガ ニ短調 BWV565』
- ◆ F.メンデルスゾーン・バルトルディ
『ソナタ 第6番 ニ短調 作品65』
- ◆ A.ドヴォルザーク
『新世界よりシンフォニー 第9番 ホ短調 作品95』
(新潟公演のみ)
- ◆ L.V.ベートーヴェン
『歓喜の歌 交響曲 第9番 op125』
『運命 交響曲 第5番 ハ短調 op67』

(演奏曲は変更される事があります)

他 日本の曲

エルンスト・エーリヒ・シュテンダー
Prof. Ernst Erich Stender

【チケット取り扱い】(共通)

★ローソンチケット ローソン・ミニストップ店頭でのLoppiにて
《販売》Lコード **31906**

《電話予約Lコード予約》**0570-084-003** (自動対応・24時間受付)

《演劇・クラシック専用》**0570-000-407** (10時~20時)

《PC・モバイル予約》<http://l-tike.com/>

★e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)

★オルガンフェスティバル ホームページ <http://iofj.net/>

【東京公演】

★株式会社メイコーポレーション **03-3584-1951**

【新潟公演】

★りゅーとぴあ (インフォメーション) **025-224-5622**
第2・4月曜日 (祝日の場合は翌日)を除く11:00~19:00

〈お問い合わせ〉オルガン・フェスティバル組織委員会事務局 TEL:03-3375-0164/FAX:03-3375-4301/eメール:cecilian-k@nifty.com

株式会社メイコーポレーション TEL:03-3584-1951 (東京公演)

〈主催〉インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン組織委員会

● Prof. Ernst Erich Stender エルンスト・エーリヒ・シュテンダー 略歴 ●

1944年 ドイツの北フリースランド郡テニング生まれ。ドイツ最高のオルガニスト。

1972年 リューベック音楽大学で教会音楽の最高資格A-Examenを修了。

1973年 リューベックの聖マリア大聖堂のオルガニストに着任。

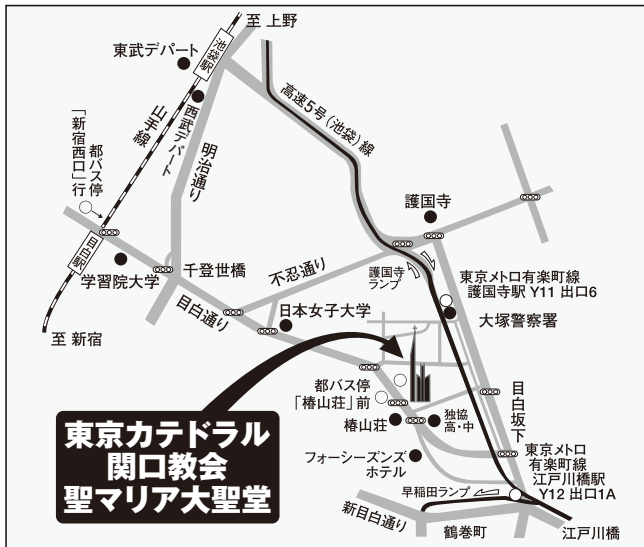
1989年 リューベック音楽大学教授に就任「北ドイツ福音ルター派教会音楽デレクター」を兼任。

1991年 アメリカ・オハイオ州クリーブランドのバッハ研究所の名誉会員に就任。

聖マリア大聖堂ではオルガニストと聖歌隊のカントール、リューベック聖歌隊の指揮者の両役割を担う。聖マリア大聖堂の2台の著名なオルガンを使い、オルガンによるブクステフーデのオルガン曲全曲や古典的オルガン交響曲など、毎年60～70回のコンサートを行い、多くのレコーディングがある。JSバッハのオルガン曲全曲を独自の解釈で演奏、オリビエ・メシアンやマックス・レーガーのオルガン作品の演奏に、批評家は“最高の音楽性を持った”オルガニストと評価している。ドイツレコード批評家賞と、ドイツレコード賞を受賞。

〈後援〉外務省／文化庁／ドイツ連邦共和国大使館／**NHK**／朝日新聞社／産経新聞社／日本経済新聞社／毎日新聞社（全国紙アイウエオ順）
 （新潟公演のみ）新潟県／新潟県教育委員会／新潟市／新潟市教育委員会／新潟日報社／読売新聞新潟支局
 BSN新潟放送／N S T／TeNYテレビ新潟／UX新潟テレビ21／エフエムラジオ新潟／FM KENTO／FM PORT 79.0（放送局開局順）

《各会場へのアクセス》



東京カテドラル 関口教会 聖マリア大聖堂
 〒112-0014 東京都文京区関口3-16-15 03-3945-0126

- ◆JR山手線白鳥より「新宿駅西口」行き都バス。
- ◆JR新宿駅より「練馬車庫」行き都バス、いずれも「椿山荘前」下車徒歩1分。
- ◆東京メトロ有楽町線「護国寺駅-Y11」南口（講談社側、出口6）より徒歩10分。
- ◆同じく有楽町線「江戸川橋駅-Y12」（出口1A）より徒歩15分。

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2 025-224-5622

- ◆JR越後線「白山」駅より徒歩約16分。
- 《JR新潟駅からバスのご利用》
- ◆新潟駅万代口より15～20分。
- ◆「昭和大橋・古町」經由湊町・入船町」行で「白山公園前」バス停下車徒歩3分。
- ◆「中央循環川岸町」經由新潟県庁」行で「陸上競技場前」バス停下車徒歩5分。
- ◆「信濃町」行で「市役所前」バス停下車徒歩7分。

絶賛好評発売中

定価（本体1600円＋税）
 申し込み…セシリア館
 03-33372-2894



愛と友情のかけはし
 音楽の旅
 児玉麻里
 貴重な記録です。（佐々木正峰）

児玉麻里さんは、旧東ドイツ主催のオルガンフェスティバルに数年間、招聘され参加されました。バッハを生んだ国において、荒城の月や自らの作品など、日本人の心を堂々と演奏され、好評を博しました。その後も、広く海外に日本のオルガン文化を精力的に発信し続けています。児玉さんは、また、日本のオルガン界の先達として、全国各地で演奏会を開催するなど、オルガン文化の普及・向上に意欲的に取り組んでいます。

愛と友情のかけはし
 音楽の旅
 旧東ドイツ
 新刊
 児玉麻里